

令和5年度

市政モニターアンケート調査結果
【シーボルト来日200周年記念事業について】



長 崎 市
文 化 財 課

1. 調査の目的

令和5年は、出島オランダ商館医フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト来日200周年にあたることから、長崎市や関係機関などで様々な事業が実施されました。市民の皆さんがどのような手段で記念事業に関する情報を得られたのか、また、実際に記念事業の行事に参加したのかを調査することで、記念事業の成果検証に活かしたいと考えております。

また、今後、同様な事業を実施する上での広報戦略の参考とするものです。

2. 調査の概要

調査期間：令和5年12月14日～令和5年12月28日

送付数：270人（郵送モニター 200人 インターネットモニター 70人）

回答率：78.5%（212人）

（郵送モニター 154人 インターネットモニター 58人）

3. 調査結果

回答された方の94.1%がシーボルトのことを「知っている」と回答しており、多くの市民の皆さんにシーボルトが認知されていることが改めて分かりました。

また、53.4%と半数以上の方が令和5年はシーボルト来日200周年に当たることを知っており、記念の年であることが認知されていることも分かりました。特に年齢が高くなるほど認知度が高い傾向にありました。

記念事業に関する情報については、半数以上の方が「広報ながさき」や「民放テレビ」から情報を得ていました。一方で、インターネット上で情報を得た人は、いずれも10%未満と低い数値でした。

記念事業に関する情報の入手手段は20～40代よりも50代以上の方が、様々な手段で情報を得ており、20～40代の方は来日200周年の認知度が低いので、このような傾向が表れているとも考えられます。

記念事業において実施した行事に参加した人は、15人という低い数値にとどまっています。

行事に参加された方の66.7%がシーボルトについてこれまで以上に知ることができたと回答しており、記念事業の目的であるシーボルトの功績を広く周知するとともに、市民の長崎の歴史文化に対する意識・興味を高めるということが一定程度達成できていると考えられます。

今後、同様な行事に参加したい方が18.4%、どちらかといえば参加したい方が54.6%と、併せて73.0%の方が参加する意向を示しています。

年代別では、20代が76.9%と一番高く、一番低い30代でも61.1%と半数を超えています。

以上のような傾向から、シーボルトの功績を周知するという所期の目的は達成できていると考えられますが、行事に参加した方の数値が低いため、如何にして行動に移してもらうかという点で、今後、同様の事業を実施する上で検討を要することが浮き彫りになっています。

4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

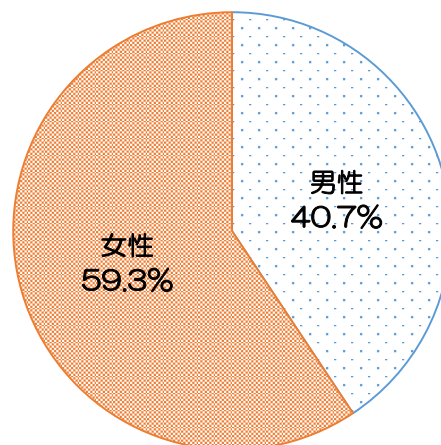
また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる間については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

問1 あなたの性別をお答えください。

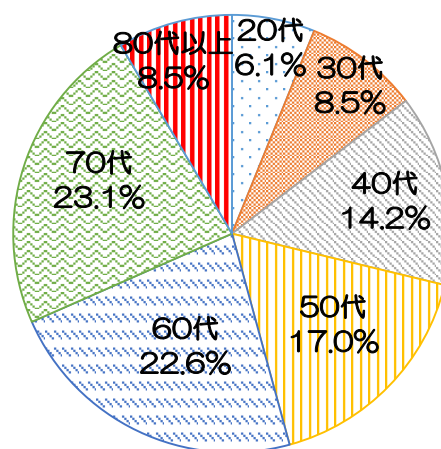
選択肢	回答者数	割合
男性	85人	40.7%
女性	124人	59.3%
合計	209人	100%

(無回答 3人)



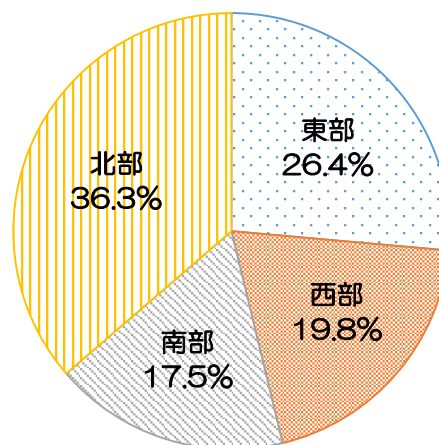
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	13人	6.1%
30代	18人	8.5%
40代	30人	14.2%
50代	36人	17.0%
60代	48人	22.6%
70代	49人	23.1%
80代以上	18人	8.5%
合計	212人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	56人	26.4%
西部	42人	19.8%
南部	37人	17.5%
北部	77人	36.3%
合計	212人	100.0%



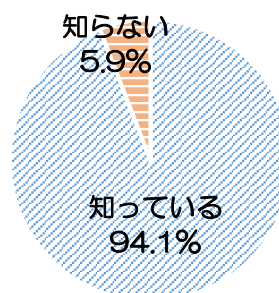
※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問 10 江戸時代に出島へシーボルトが来たことはご存知ですか。

(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
知っている	193 人	94.1%
知らない	12 人	5.9%
合計	205 人	100%

(無回答 7人)



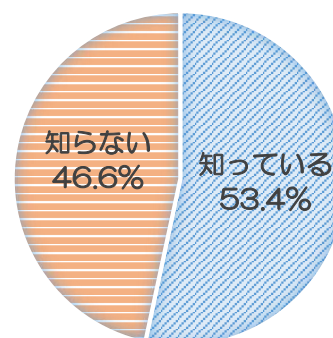
94.1%の人がシーボルトのことを「知っている」と回答しており、多くの市民にシーボルトのことが認知されていることが分かりました。

その割合は、性別や年代別に大きな偏りはありませんでした。

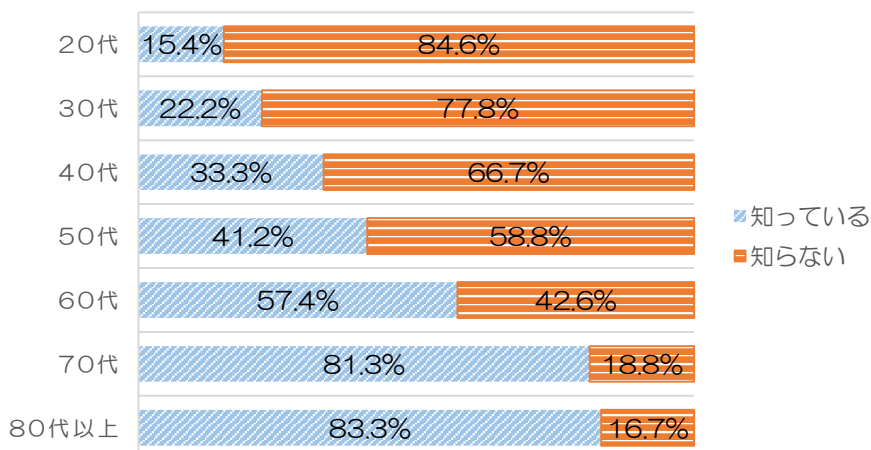
問 11 令和5年は、シーボルトが来日して200周年にあたることはご存知ですか。(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
知っている	111 人	53.4%
知らない	97 人	46.6%
合計	208 人	100%

(無回答 4人)



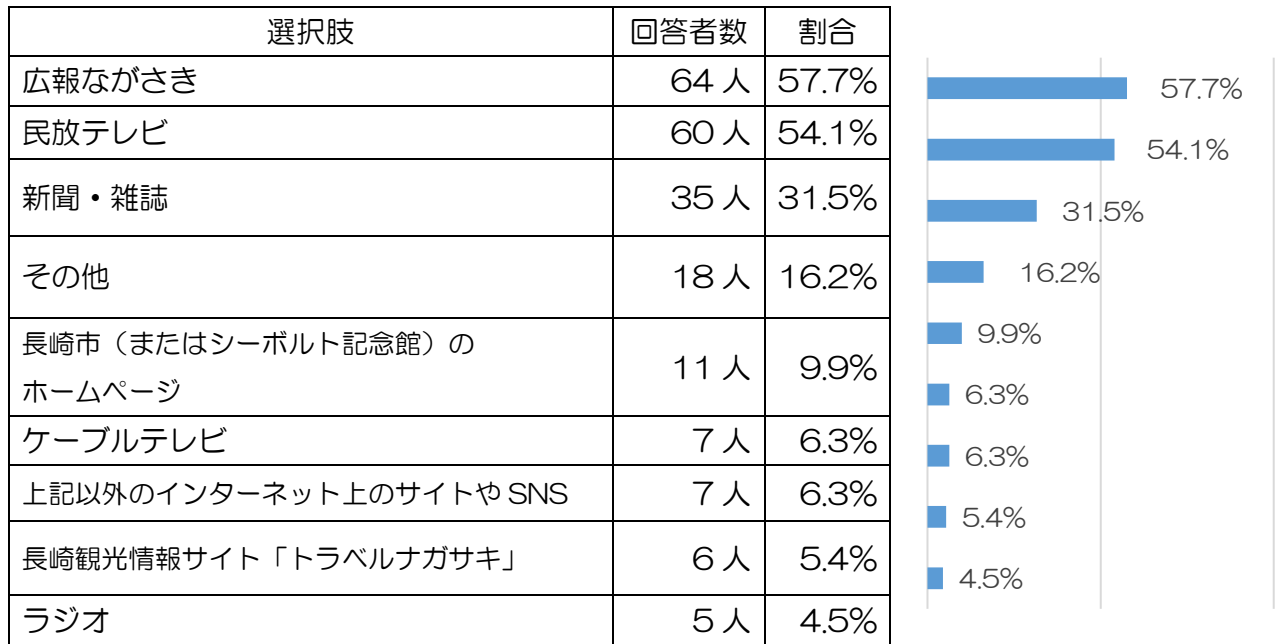
<年代別割合>



53.4%の人が令和5年はシーボルト来日200周年にあたることを「知っている」と回答しており、約半数の市民に記念の年であることが認知されていることが分かりました。

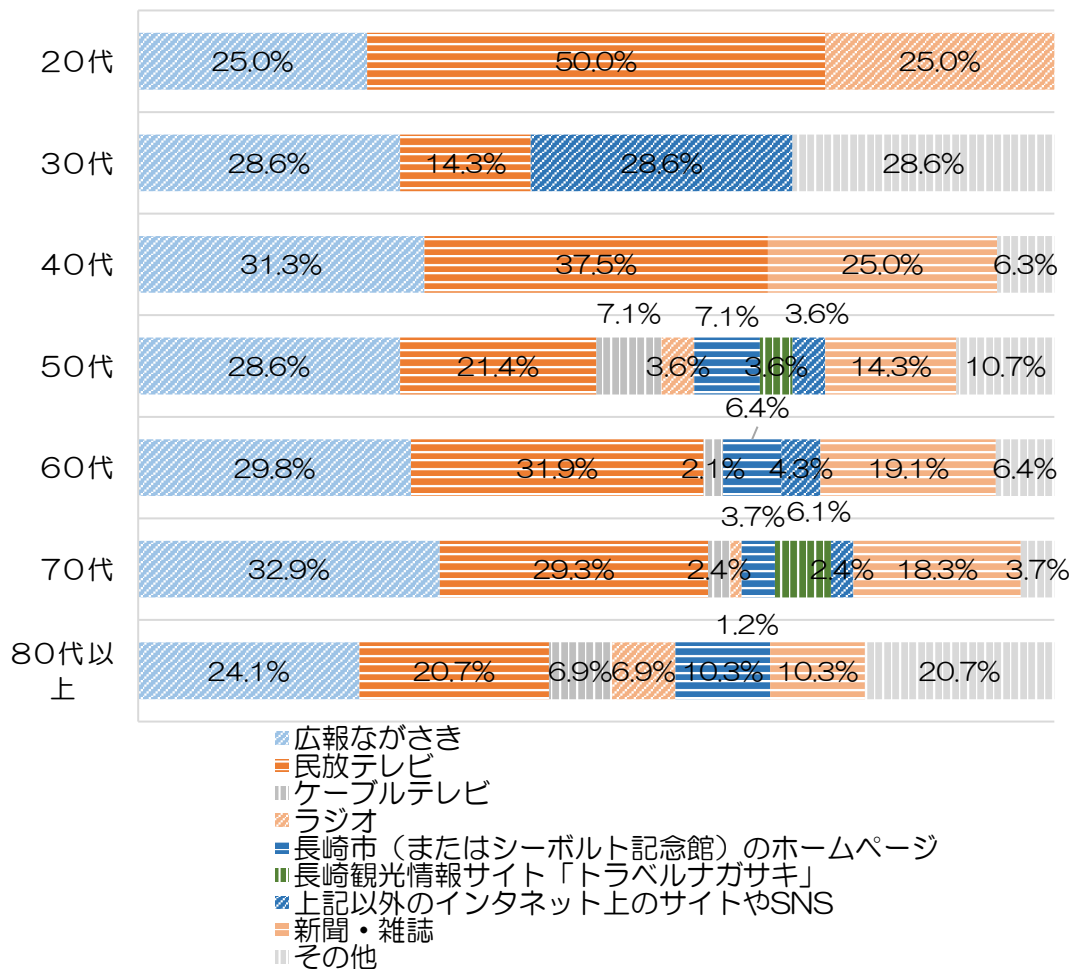
年代別においては、年齢が高くなるほどご存知の方が多い傾向にありました。

問 12 「問 11」で「1 知っている」と回答したかたに質問です。どこからその情報を得ることができましたか。（複数回答可）



（回答者数 111人 有効回答数 213）

<年代別割合>



半数以上の方が「広報ながさき」「民放テレビ」から情報を得ていました。
 一方で、インターネットで情報を得た人はいずれも 10%未滿と低い数値でした。
 年代別においては、20～40 代よりも 50 代以上の方が、様々な手段で情報を得て
 おり、20～40 代の方は来日 200 周年の認知度が低いので、このような傾向が表れ
 ているとも考えられます。

問 13 シーボルト来日 200 周年記念行事に参加されましたか。(複数回答可)

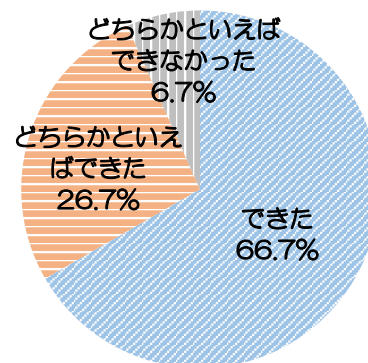


(回答者数 205 人 無回答 7 人 有効回答数 205)

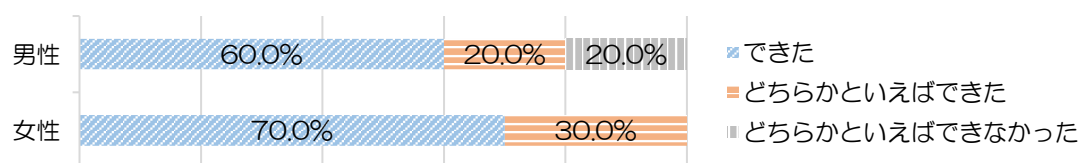
記念事業において実施した行事に参加した人は、延べ 15 人とどまってお
 り、参加された行事のうち、最も多かったのが、展覧会の 10 人でその他はい
 ずれも 1～2 人でした。

問 14 問 13 でいずれかの行事に参加されたかたに質問です。シーボルトについてこれまで以上知ることができましたか。(当てはまるもの1つ回答)

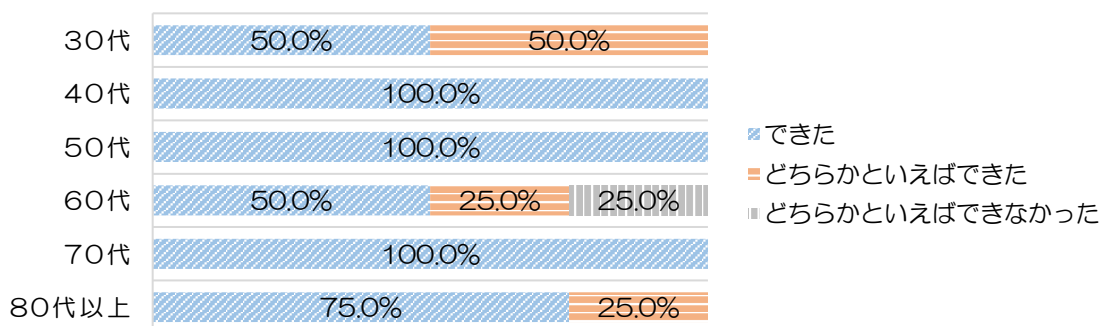
選択肢	回答者数	割合
できた	10 人	66.7%
どちらかといえばできた	4 人	26.7%
どちらかといえばできなかった	1 人	6.7%
合計	15 人	100%



<性別割合>



<年代割合>



行事に参加された方の66.7%がシーボルトについてこれまで以上に知ることができたかどちらかといえばできたと回答しており、記念事業の目的である、「シーボルトの功績をあらためて広く周知するとともに、シーボルトが紹介した長崎の魅力をアピールし、市民や観光客の長崎の歴史文化に対する意識・興味を高める」ということが一定程度達成できていると考えられます。

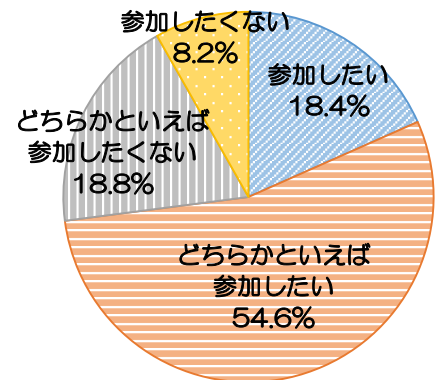
性別においては、特に女性の方が100%と顕著な効果が見られます。

年代別では、40・50・70代の方が100%、30・80代の100%が知ることができたか、どちらかと言えはできたと回答しています。

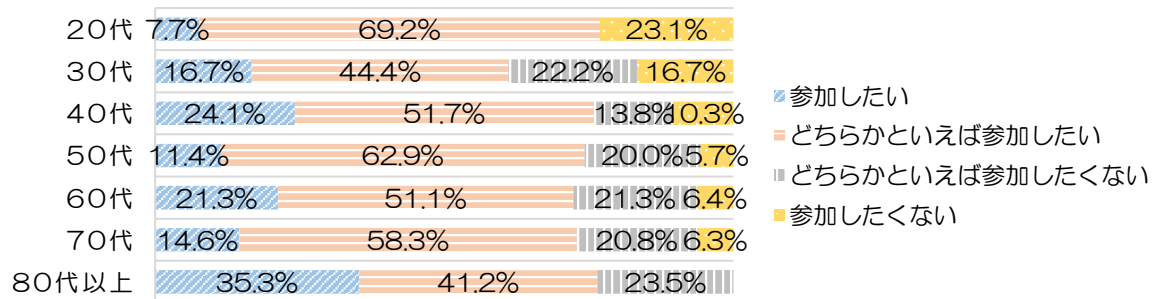
問 15 今後、長崎の歴史上の人物に関するイベントが開催されれば参加したいと思いますか。(当てはまるもの1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
参加したい	38 人	18.4%
どちらかといえば参加したい	113 人	54.6%
どちらかといえば参加したくない	39 人	18.8%
参加したくない	17 人	8.2%
合計	207 人	100%

(無回答 5人)



<年代別割合>



今後、同様な行事に参加したい方が 18.4%、どちらかといえば参加したい方が 54.6%と、併せて 73.0%の方が参加する意向を示しています。

年代別では、20代が 76.9%と一番高く、一番低い 30代でも 61.1%と半数を超えています。